

ライターの秋山です。昨晩は雪が降り冷え込みました。皆様お身体にはお気をつけ下さい。

今日は、商品の入荷状況、25日にうかがった福島医療生協の炊き出しの様様、日々増強される支援部隊の皆さんの活躍&到着状況などを中心にお伝えします。

屋根には雪が積もりましたが



8時半現在、青空も見えてきています

1. 商品の入荷の様子を取材しました

25日は日配センターにて、徐々にバラエティを取り戻しつつある入荷商品の各店舗への振り分けの様子を取材させていただきました。地震発生から2週間が警戒した現在、何があり何がないのか。そのニーズを探りながら、徐々に商品がそろってきているようです。

入荷確認作業を支援する日生協上垣正美さん



支援物資のレインコート（左）。

ドッグフードも入荷。愛犬

に我慢を強いる必要もなくなります！（中）。

調理に手間がかからない「野菜水煮」も入荷（右）



2. 福島医療生協による避難所での炊き出しの様様



25日、福島医療生協による福島県立東高校体育館に設けられた避難所への炊き出し活動取材しました。医療生協関係者7~8名、避難所で暮らす被災者の方々の有志4~5名が協力して250人分の温かい食事を提供してきています。

この日のメニューはホワイトソース（ドリア風）のおじや、切り干し大根、フルーツポンチなど。

足を運びわかりましたが、体育館に設けられた避難所は、公民館などのそれに比べやはり冷えます。温かい食事の提供は、何にも代え難い支援だと思いました。



被災者の方と協力し調理（上）。

準備が整うと励ましの言葉をかけ配布開始（下）

3. 今日も支援スタッフの皆さんが続々到着&活躍中

24日に到着された生協ひろしまの皆さん4名はいずみ店、やのめ店に入り店舗支援を行いました。

“生協ひろしま 東日本大震災被災者支援隊”隊長の竹広和博さん（写真左から2番目）は「全国の生協との絆は常日頃から感じます。が、こういう非常時にはそれをいっそう強く感じますね」。かつて阪神大震災時にも支援活動を行ったという端田雅之さん（同左端）は「生協の一員としてはもちろん、今回は日本人として何かしなければならぬと強く感じ手を挙げました」と意気込みを語っていました。



なお、25日には日生協6名、ユーコープ10名と、支援スタッフが続々到着。早速動き出しています。